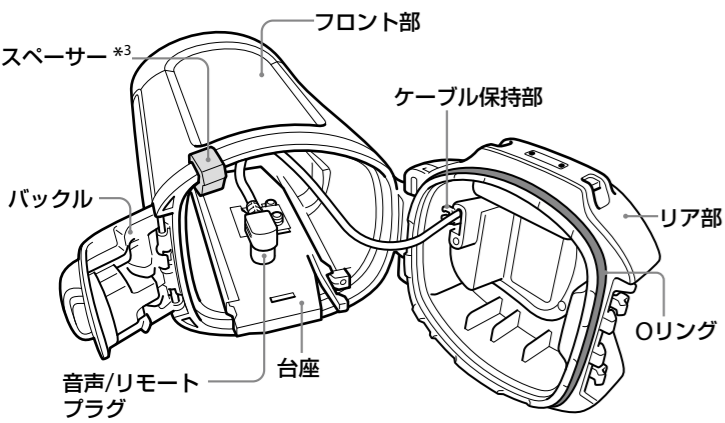
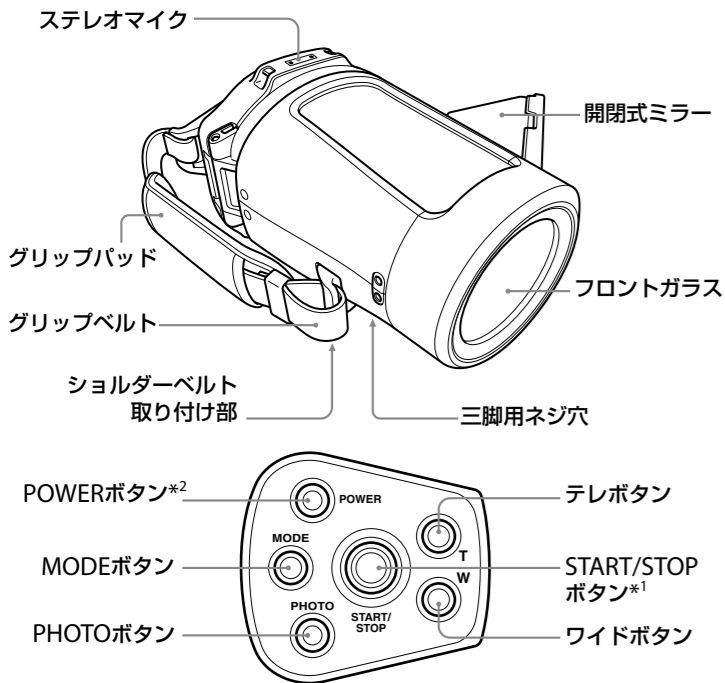


各部のなまえ



*1 START/STOPボタンには、ボタン上面に赤い輪のマークが付いています。

*2 POWERボタンには、ボタン上面に緑のマークが付いています。

*3 ご使用になるときは取りはずしてください。

主な仕様

材質
プラスチック(PC、ABS)、ガラス

防水構造
Oリング、バックル

耐圧
水深5 mまで

外部より操作可能な動作
撮影時の電源入/切、録画開始/停止、フォト操作、ズーム操作

外形寸法
約120×103×207 mm
(グリップベルト、グリップパッド含まず)
(幅/高さ/奥行き)

質量
約670 g (本体のみ)

同梱物
ウォーターブルーフェース(1)
ショルダーベルト(1)
台座A (1)
台座B (1)
台座C (1)
三脚ネジプレート(1)
反射防止リング(M30 × ø39)(1)
反射防止リング(M30 × ø47)(1)
反射防止リング(M37 × ø49)(1)
グリス(1)
スペーサー (1)
乾燥剤(1)
印刷物一式

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

スポーツパックを使う

準備する

1 本機にカメラを取り付ける。

「スポーツパック準備ガイド」をよくお読みのうえ、手順に従って取り付けてください。

2 電源を入れる。

本機のPOWERボタンを押すと、カメラ/本機の電源が入ります。カメラは動画撮影モードになります。

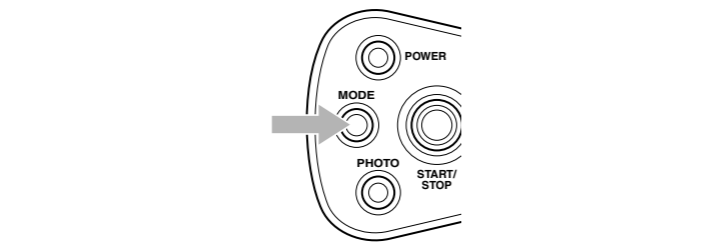
ご注意
撮影スタンバイが5分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。この機能は、カメラ側で「自動電源オフ」を「なし」にすることができます。詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
撮影スタンバイに戻すには、POWERボタンを押して再度「ON」にしてください。

3 カメラのモードを設定する。

MODEボタンを押すと、カメラのモードが下記の順で切り替わります。

▶ 動画撮影モード → 静止画撮影モード ◀

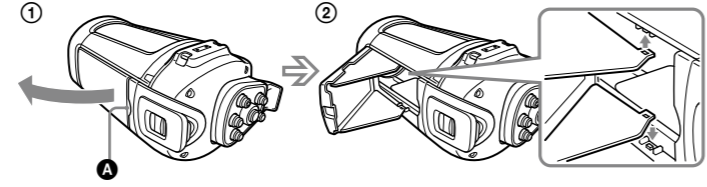
開閉式ミラーでカメラの液晶画面を確認しながら、カメラがご希望のモードになるまでMODEボタンを押して切り換えてください。カメラの各モードについて、詳しくはお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。



開閉式ミラーを開く

開閉式ミラーに映る映像を見ながら撮影することができます。

- ① **A**部を持って、開閉式ミラーを開く。
- ② 上下の羽を広げ、羽の穴を固定用の凸部にはめ込む。



開閉式ミラーを閉じるときは
上下の羽の固定をはずし、下の羽から閉じます。

撮影する

動画を撮影する

動画をメモリーカード、内蔵メモリーに記録します。

1 MODEボタンを押してカメラを動画撮影モードにする。

2 START/STOPボタンを押す。

撮影が始まります。

撮影を止めるには

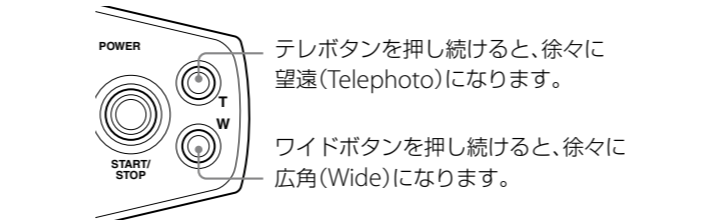
START/STOPボタンを押します。
もう一度、START/STOPボタンを押すと撮影が開始されます。

電源を切るには

撮影を止めた状態でPOWERボタンを押して「OFF」にします。

ズームのしかた

速度が2段階に変化します。
軽く押すとゆっくりズームインし、さらに押すと早くズームインします。



静止画を撮影する

静止画をメモリーカード、内蔵メモリーに記録します。

1 MODEボタンを押してカメラを静止画撮影モードにする。

2 PHOTOボタンを軽く押す。

液晶画面表示の緑の●が点滅から点灯に変わり撮影可能になります。
*この状態では、画像は記録されていません。

3 PHOTOボタンを深く押す。

PHOTOボタンを深く押したときの画像が記録されます。

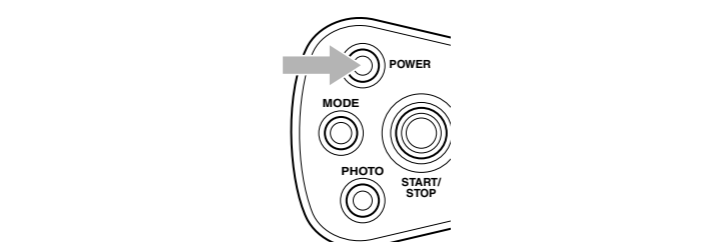
カメラによっては、デュアル記録ができます。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ① 本機を使ってナイトショット撮影等、暗闇で撮る機能を使用することはできません。
- ② 本機を使ってカメラの内蔵ライト機能、フラッシュ機能、テレマクロ機能を使用することはできません。
- ③ 本機を使ってカメラの手ブレ補正機能、顔検出機能、自動逆光補正機能、スポット(測光、フォーカス)機能、内蔵マイクを使用することはできません。
- ④ 本機を使って位置情報を取得するGPSは使用することはできません。
- ⑤ 動画、静止画の記録先をメモリーカードと内蔵メモリーで選べるカメラがあります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ⑥ 静止画撮影する際は、カメラを安定させるために、脇をしめ、左手を添えたり、左手の親指でPHOTOボタンを押すことをおすすめします。
- ⑦ 動画撮影する際は、ステレオマイク部に指がかからないようご注意ください。

ビデオカメラを取りはずす

1 POWERボタンを押して電源を切る。

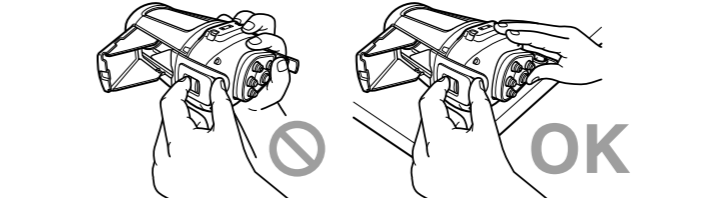


2 バックルをはずして、リア部を開ける。

別紙の「**B**台座の準備」の手順1を参照してください。

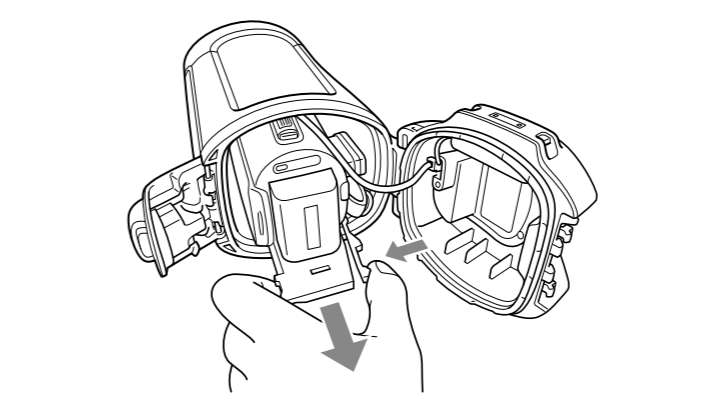
ご注意

- 本機を開けるときは、本機と体についた水分を十分に拭き取ってから開け、水滴が内部のカメラにからないようにしてください。
- バックルをはずす時は本機を机の上などに置いてから行ってください。手でスポーツパックを持ったまま、はずさないでください。



3 台座を引き出す。

台座の片側のノブを押さえるようにしてつかみ、ロックをはずしカメラをゆっくりと引き出します。



4 カメラに取り付けたプラグがフロント部の外に出てきたところまでいったん止め、プラグをはずす。

ご注意

- 音声/リモートプラグのプラグ部を持って確実にはずしてください。
- ケーブルをケーブル保持部にかけている場合は、はずしてください。
- コード部を持って抜いたり、プラグがはずれていない状態で台座を引き出すとプラグやカメラの端子の破損の原因となります。

5 台座を取りはずす。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口へご相談ください。

□ 音声記録されていない
→カメラのA/V端子、A/V OUT端子またはA/Vリモート端子に音声/リモートプラグをしっかりと差し込む。

□ 本機に水が入る
→バックルをカチッとロックされるまで締める。
→Oリングを正しく装着する。
→Oリングにキズ、ヒビ割れが入っている場合、新しいものと交換する。
→ケーブルをフロント部、リア部で挟み込んでいないか確認し、挟み込んでいる場合は、なおしてください。

□ 撮影ができない
→バッテリーを十分に充電する。
→カメラのA/V端子、A/V OUT端子またはA/Vリモート端子に音声/リモートプラグをしっかりと差し込む。
→メモリーカードの残量がない場合、別のメモリーカードを入れる。または不要なデータを消す。
→内蔵メモリーの空き容量がない場合、不要なデータを消す。

□ 電源が入らない
→電源を入れてから撮影可能になるまで数秒かかるカメラもありますが、故障ではありません。
→電源を切った直後は電源が入らないため、カメラの液晶画面が消えてから10秒以上おき、再度電源を入れる。

□ 本機のボタンが重い/引っかけり感がある/戻りが遅い
→ボタンの内部にはOリングが入っているため、時間をおいてのご使用開始時はこのようになることがありますが、故障ではありません。

□ ズームが調整できない。
→ケーブルがカメラのズームレバーに接触していないか確認し、接触していれば離してください。

□ バックルがロックしない
→ケーブルをフロント部、リア部で挟み込んでいないか確認し、挟み込んでいる場合は、なおしてください。

□ 曇り、水滴が見える
→リア部を開いて、リア部やフロント部の内側から曇りや水滴が見えることがあります。本機はリア部とフロント部が二重構造になっているため、隙間に曇りや水滴が発生することがありますが、本機の中に発生することはなく故障ではありません。

□ 台座がきつい、ロックしない
→台座で乾燥剤を挟み込んでいないか確認し、挟み込んでいる場合は、なおしてください。

→カメラのグリップベルトが音声/リモートプラグに乗り上がっていないかを確認し、乗り上がっている場合はスポーツパック準備ガイドの「**B**ビデオカメラを取り付ける」の手順3を参照して、再度プラグの接続と本機への取り付けを行ってください。

